

保育計画成果報告書

法人名等	株式会社サンエイプラテック
施設名	なるなる保育園
報告者（役職）	岡田 全也（代表取締役）
住所・連絡先	大阪府堺市北区常磐町3-7-2 1
	☎ 072-256-3111
	E-mail saneipla.1115@gmail.com

○タイトル（保育計画）

身体を動かして遊ぼう！！

○主な助成備品

体操マット、平均台、鉄棒等

1. 保育計画策定の目的

- ・ 園庭が無いなるなる保育園で、運動遊びを室内でしたい。
- ・ 乳幼児期から身体を動かす喜びを知る。平均台やマットを使っての転がる・這う・ジャンプなどの動きを通して、今後役に立つ身体の動かし方を保育に取り入れるようにする。

2. 具体的な実施内容

- ・ 鉄棒にぶら下がったり、平均台の上を歩く。
- ・ 身体の使い方を知り、バランス感覚を養うために、坂道を昇り降りしたり、凸凹のマットの上を歩いたりハイハイしたりする。
- ・ マットの上を転がることで身体の使い方を知る。

●春・夏の前半頃は単体で使って遊ぶ。



●夏の後半からはマットや鉄棒などを組み合わせてサーキット遊びをし、繰り返し遊ぶ。



3. その成果と評価

なるなる保育園には園庭が無く、近くの公園や河川敷に行き、運動遊びをするという選択肢しかなかった。しかし、本事業で購入させていただいた運動遊具により、室内での運動遊びが可能になった。運動遊具の購入先である会社の指導を受けながら、子どもたちに遊びを通して身体の使い方を教えることができることは、子どもだけでなく保育者も勉強になるところがたくさんある。室内遊具なので雨天でも運動できる場所も大きな利点である。雨で思うように身体を動かせないという子どもたちの状況を打破できることは、園生活を送る中で保育の選択肢の広がりとなった。また、日頃の保育の中に坂道や凸凹の上を歩いたり転がったりすることを取り入れることで、身体の使い方が分かるようになり、バランス感覚が養われ、転倒する時にとっさに手が先に出たり、しっかりと足で踏ん張ることもできるようになり、大きなケガに繋がることを防ぐことにもなっている。春頃は恐る恐るマットや平均台の上に乗っていたが、繰り返し遊ぶうちにバランスを取りながら平均台の上を歩いたり、少し高くしたところからジャンプをしたりと積極的に遊ぶ姿が見られるようになった。

4. 今後の課題と展望

女性の多い職場なので、室内の運動遊具の出し入れはなかなか難しい状態にある。これから体操を教える団体や先生と一緒に準備していただけるような提携先を探していきたい。講師を呼び定期的に運動の機会を設ける中で、子どもたちにもっと専門的なアプローチをしたいと考えている。その中で、体操の専門講師がどのように運動を実施しているのかを知り、日々の保育に少しずつ取り入れることができれば、好循環していくと考えている。

今回の事業で学んだことは、0・1・2歳児に運動遊びはとても大切であるということである。子どもたちの発達に即した運動遊びは、将来とても大きな財産となり、子どもたちの成長に欠かすことのできない要素をもっていると思う。運動、音楽、絵画など保育園での活動は様々なことを子どもたちに伝えていかなければならない。その中でも生きていく資本となる身体作りは、乳幼児期にとっても重要な位置付けとなると考える。

なるなる保育園として、今後も子どもたちの発育・発達を考慮した運動遊びをプログラム化して取り組めるようにしていきたい。

以上